

## 副腎クリーゼに関する研究

研究分担者 大月道夫・大阪大学大学院医学系研究科・内分泌・代謝内科・講師  
研究分担者 武田仁勇・金沢大学先端医療開発センター・特任教授  
研究分担者 曾根正勝・京都大学大学院医学研究科  
糖尿病・内分泌・栄養内科・特定准教授  
研究分担者 岩崎泰正・高知大学保健管理センター・教授  
研究分担者 田島敏広・自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科・教授  
研究分担者 石井智弘・慶応義塾大学医学部小児科学教室・准教授  
研究分担者 前田恵理・秋田大学大学院医学系研究科環境保健学講座・講師

### 研究要旨

本研究班、日本内分泌学会、日本小児内分泌学会合同で厚生労働省にハイドロコルチゾン製剤の在宅自己注射保険収載の要望書を提出した。今後、本邦における副腎不全の疫学調査およびハイドロコルチゾン自己注射のコンセンサスステートメントの作成を行う。

### A. 研究目的

昨年度、欧米の副腎不全のガイドラインにおける副腎クリーゼ時の対応に関して文献的検討を行うとともに、本邦における小児副腎クリーゼの実態調査を行った。本年度は、本邦における成人副腎クリーゼの実態調査を行うとともに、ヒドロコルチゾン製剤の在宅自己注射の保険収載申請を行う。さらにハイドロコルチゾン自己注射のコンセンサスステートメント作成を目指す。

### B. 研究方法

「副腎クリーゼに対するハイドロコルチゾン自己注射」の海外文献の検討を踏まえ、本邦成人における副腎クリーゼの実態調のための調査票の作成を行う。ヒドロコルチゾン製剤の在宅自己注射の保険収載申請のために関連学会へ協力を要請する。

### （倫理面への配慮）

本研究は慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認のもとに行った。

### C. 研究結果

本邦成人における副腎クリーゼの実態調査のための調

査票を作成中である。また本研究班、日本内分泌学会、日本小児内分泌学会、日本ステロイドホルモン学会の同意のもと、厚生労働省にヒドロコルチゾン製剤の在宅自己注射の保険収載の要望書を提出する準備を進めた（資料6 急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）時のヒドロコルチゾン製剤投与に対する在宅自己注射指導管理料（概要図）参照）。最終的には、「医療技術評価提案書（保険既収載技術用）申請技術名 急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）時のヒドロコルチゾン製剤投与に対する在宅自己注射指導」を平成31年4月17日に提出した。

### D. 考察

今後、作成中の調査票を用い、本邦成人における副腎クリーゼの実態調査を行う。またヒドロコルチゾン製剤の在宅自己注射の保険収載後、ハイドロコルチゾン自己注射のコンセンサスステートメントの作成を行う。

### E. 結論

本邦成人における副腎クリーゼの実態調査のための調査票を作成中である。また本研究班、日本内分泌学会、日本小児内分泌学会、日本ステロイドホルモン学会、の

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）  
分担研究報告書

合同で厚生労働省にヒドロコルチゾン製剤の在宅自己注射の保険収載の要望書を提出した。

**F. 健康危険情報**

なし

**G. 研究発表**

**1. 論文発表**

なし

**2. 学会発表**

なし

**H. 知的財産権の出願・登録状況**

（予定を含む。）

**1. 特許取得**

なし

**2. 実用新案登録**

なし

**3. その他**

なし